

東郷町 地域福祉に関するアンケート調査

調査結果報告書・概要版

令和7年2月
東郷町

1 アンケート調査の目的

「第2次東郷町地域福祉グランドデザイン」策定の基礎資料とするため、町内在住の18歳以上の一般町民2,000人、町内の民生委員・児童委員47人、町内の区長・自治会長18人、町内の団体・支援者25人を対象に、地域福祉に関するアンケート調査を実施しました。

2 アンケート調査の実施概要

区分	調査方法	調査期間	配布数	回収数	回収率
18歳以上の一般町民	郵送配布・郵送回収 もしくはWEB回答	令和6年12月2日～ 12月15日	2,000	816	40.8%
民生委員・児童委員	直接配布・郵送回収	令和6年12月9日～ 12月20日	47	42	89.4%
区長・自治会長	郵送配布・郵送回収	令和6年12月2日～ 12月15日	18	18	100.0%
団体・支援者	郵送配布・郵送回収 もしくはWEB回答	令和6年11月11日～ 11月24日	25	24	96.0%

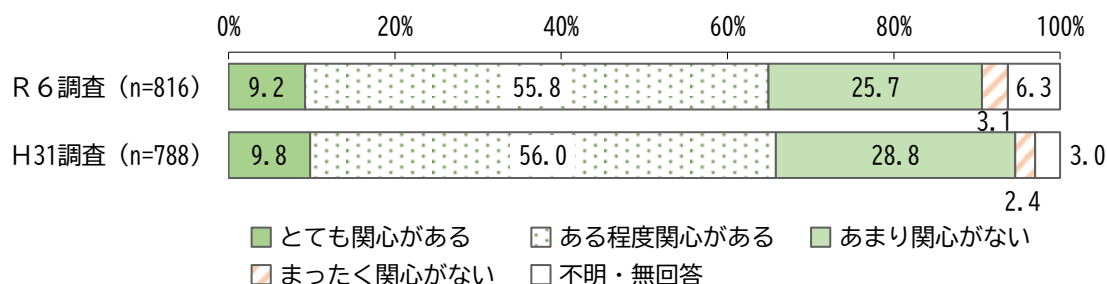
※前回調査とは、平成31年1月に実施した「地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に向けたアンケート調査」を指します。

3 町民調査結果

● 地域福祉への関心 | 単数回答

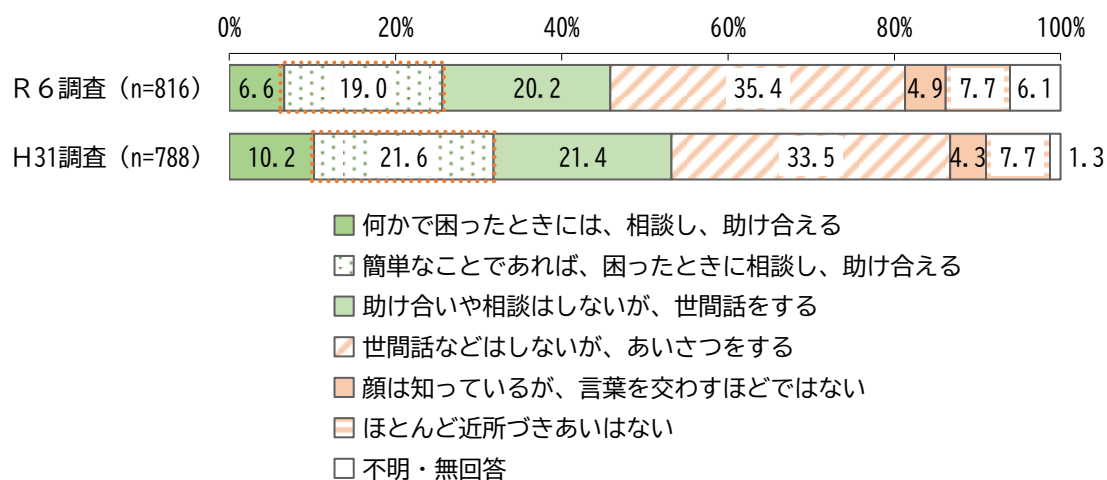
指標

『関心がある』（「とても関心がある」と「ある程度関心がある」の合算）が65.0%となっています。前回調査と比較すると、ほぼ同程度の結果となっています。



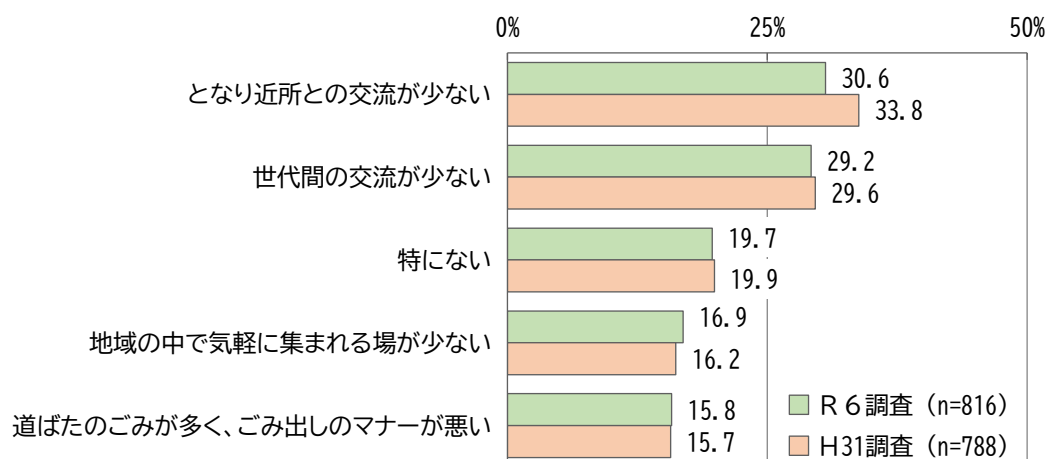
●「ご近所づきあい」の程度 | 単数回答 指標

「何かで困ったときには、相談し、助け合える」が6.6%となっています。前回調査と比較すると、3.6ポイント低くなっています。



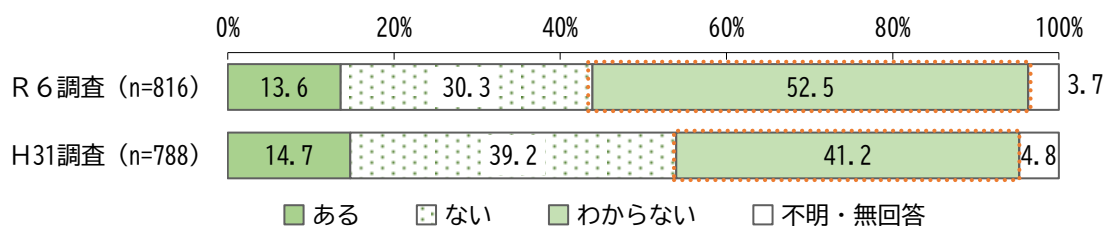
●地域の状況や課題（上位5項目） | 複数回答

「となり近所との交流が少ない」「世代間の交流が少ない」がそれぞれ3割前後となっています。前回調査と比較すると、ほぼ同程度の結果となっています。



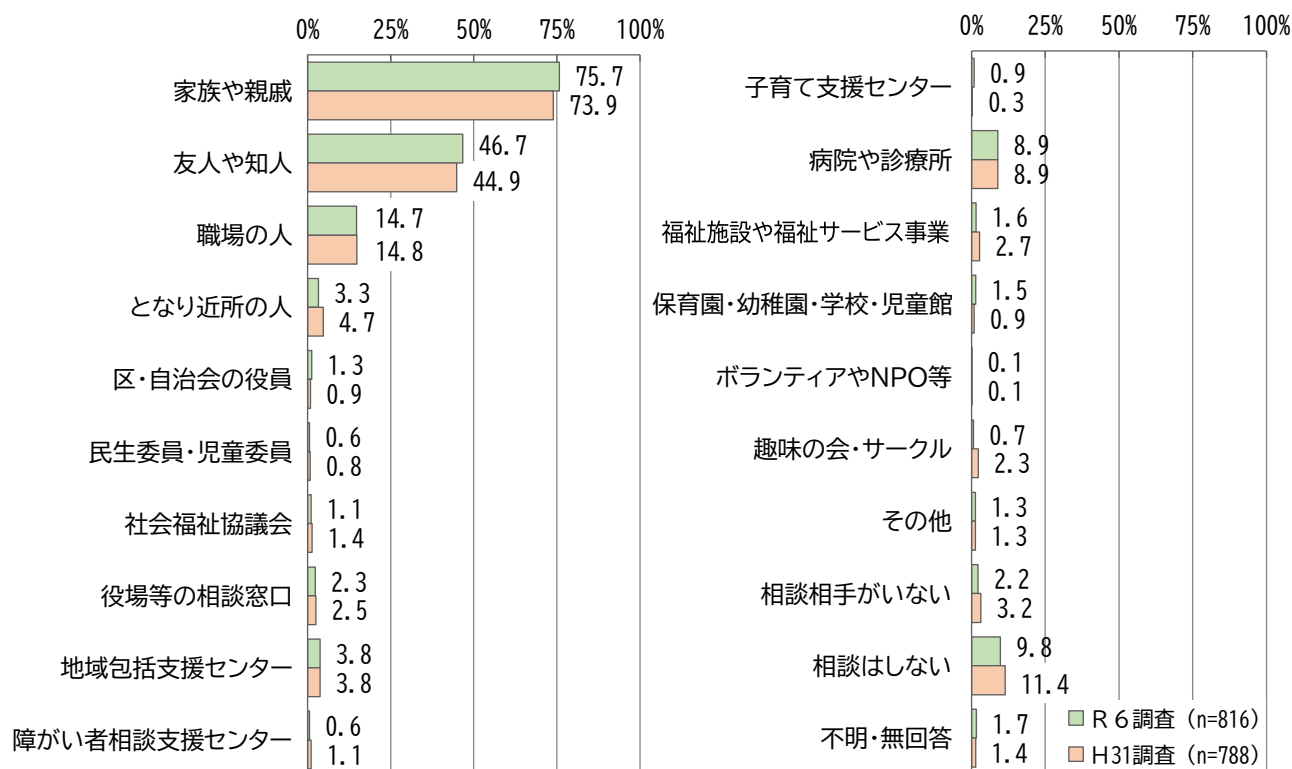
●となり近所に、周囲の人の手助けや協力・支援が必要だと思われる家庭があるか | 単数回答

「ある」が13.6%、「ない」が30.3%、「わからない」が52.5%となっています。前回調査と比較すると、「わからない」が11.3ポイント高くなっています。



●生活上の悩みや不安の相談相手 | 複数回答

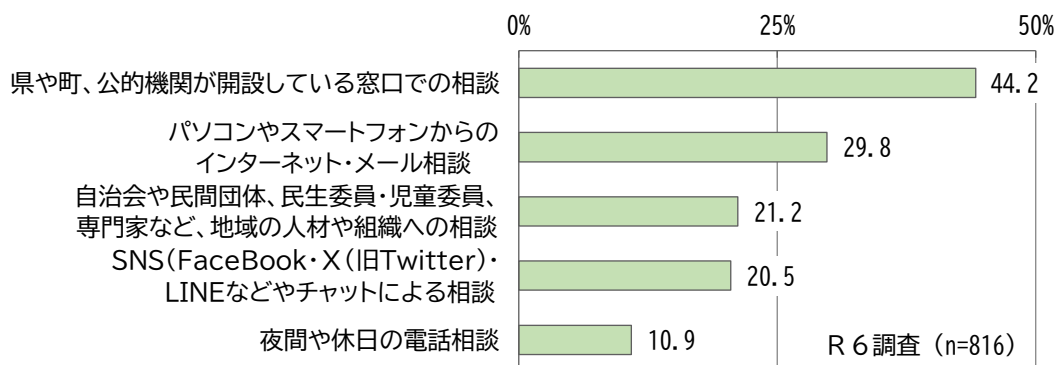
「家族や親戚」が75.7%と最も高くなっています。前回調査と比較すると、「相談はしない」がそれぞれ1割前後と同程度の結果となっています。



●生活上の悩みや不安を相談できると良いと思う方法（上位5項目） | 複数回答

新規

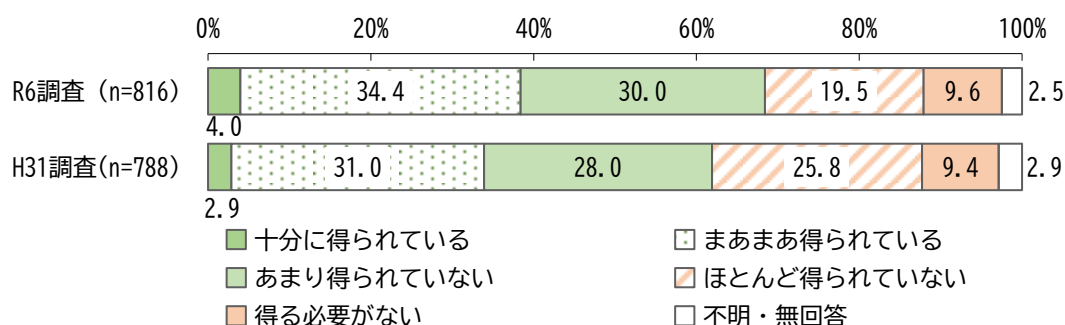
「県や町、公的機関が開設している窓口での相談」が44.2%と最も高くなっています。



●日々の生活に必要な福祉の情報の取得状況【単数回答】

指標

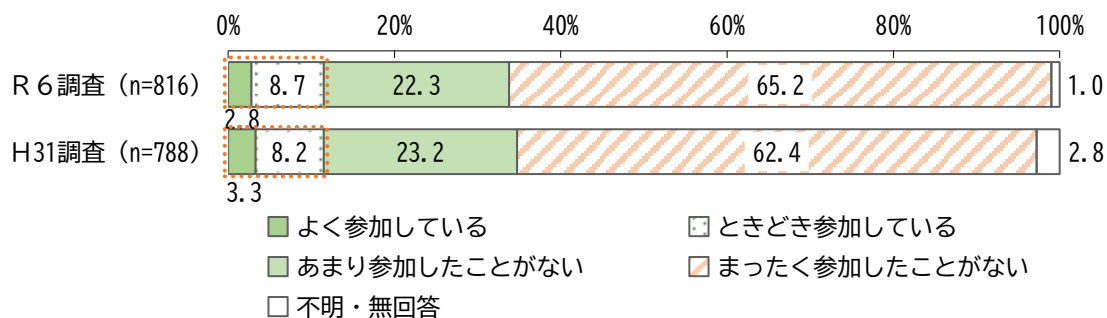
『得られている』（「十分に得られている」と「まあまあ得られている」の合算）が38.4%となっています。前回調査と比較すると、『得られている』が4.6ポイント増加しています。



● ボランティア・町民主体の活動やNPO活動への参加状況【単数回答】

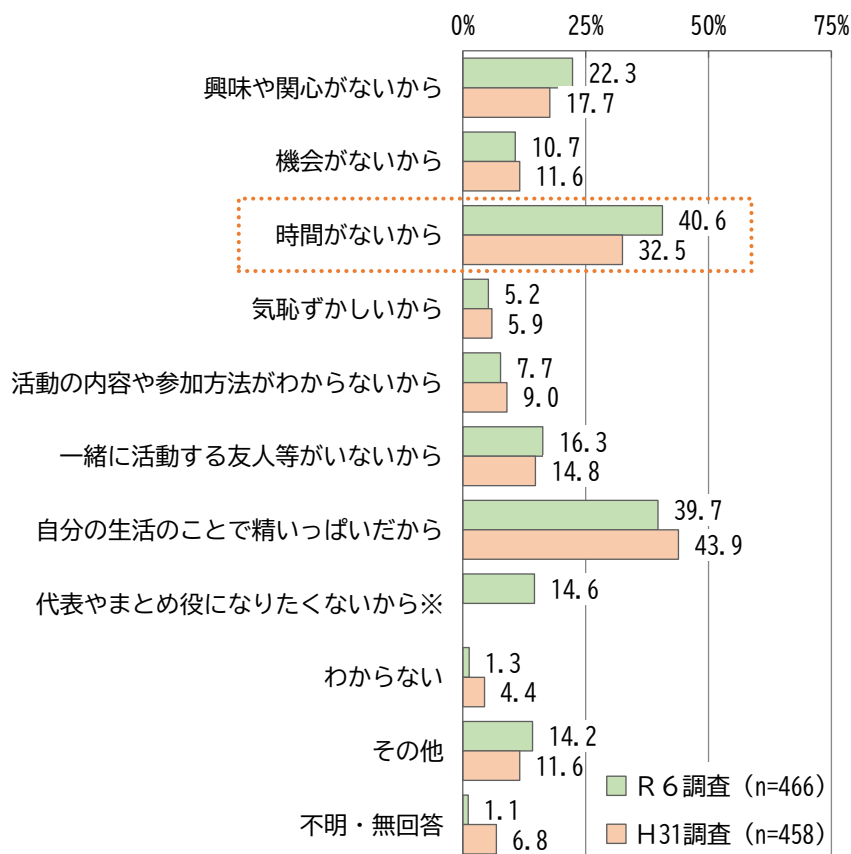
指標

『参加している』（「よく参加している」と「ときどき参加している」の合算）が11.5%となっています。前回調査と比較すると、ほぼ同程度の結果となっています。



● ボランティア・町民主体の活動やNPO活動に参加できない、参加したくない理由 | 複数回答

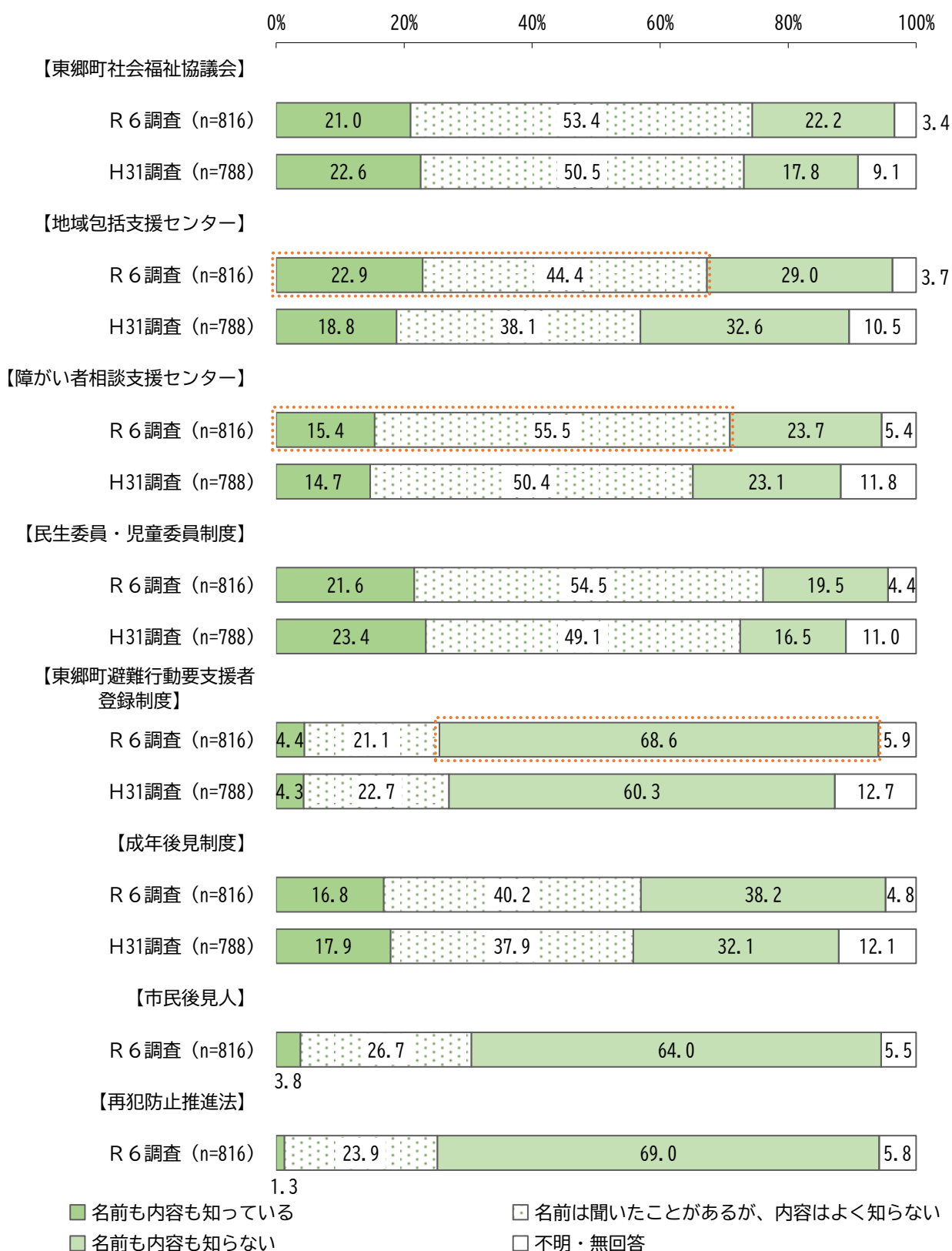
「時間がないから」「自分の生活のことで精いっぱいだから」がそれぞれ4割前後となっています。前回調査と比較すると、「時間がないから」が8.1ポイント高くなっています。



※選択肢「代表やまとめ役になりたくないから」はR 6 調査のみ。

● 組織・制度の認知度 | 単数回答 指標

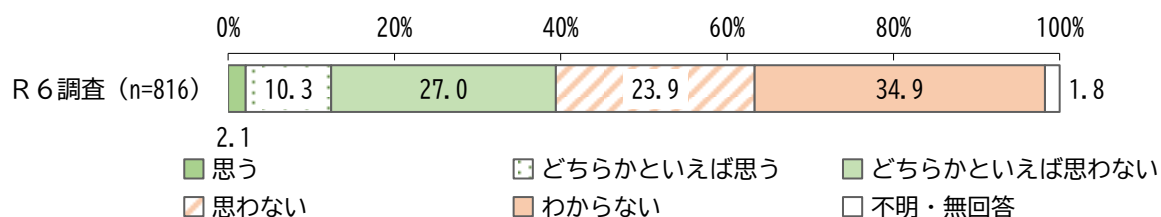
【東郷町避難行動要支援者登録制度】【市民後見人】【再犯防止推進法】で「名前も内容も知らない」がそれぞれ6割台となっています。前回調査と比較すると、【東郷町避難行動要支援者登録制度】で「名前も内容も知らない」が8.3ポイント高くなっています。



※【市民後見人】【再犯防止推進法】はR 6 調査のみ。

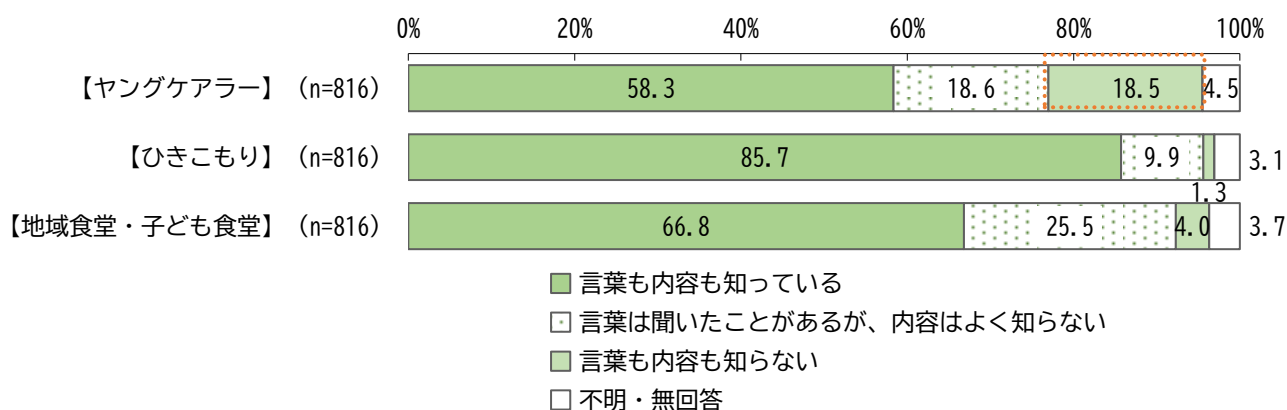
● 犯罪をした人等の立ち直りに協力したいと思うか | 単数回答 新規

『思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合算）が12.4%、『思わない』（「どちらかといえば思わない」と「思わない」の合算）が50.9%、「わからない」が34.9%となっています。



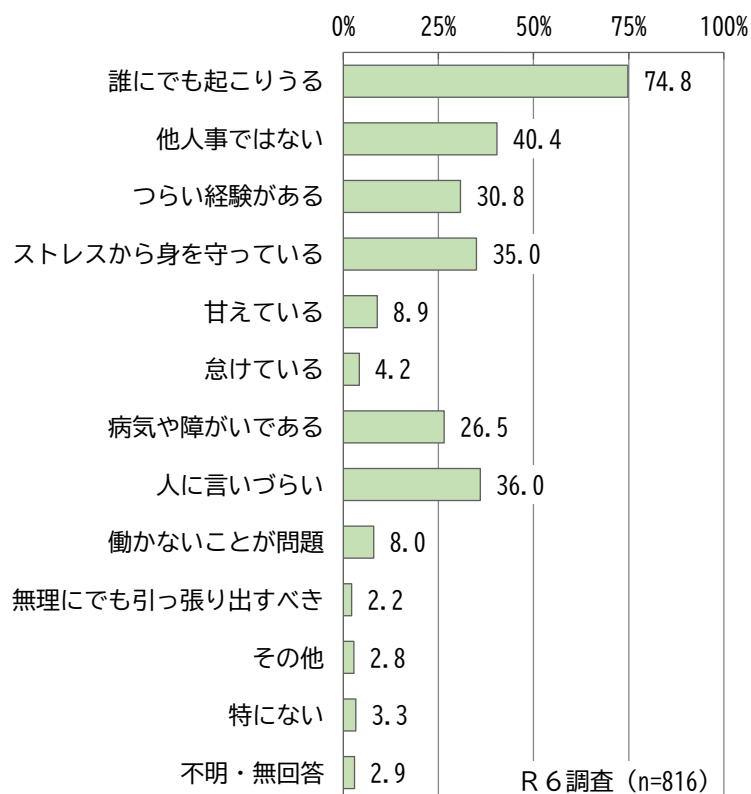
● 言葉や内容の認知度 | 単数回答 新規

【ヤングケアラー】で「言葉も内容も知らない」が18.5%となっています。



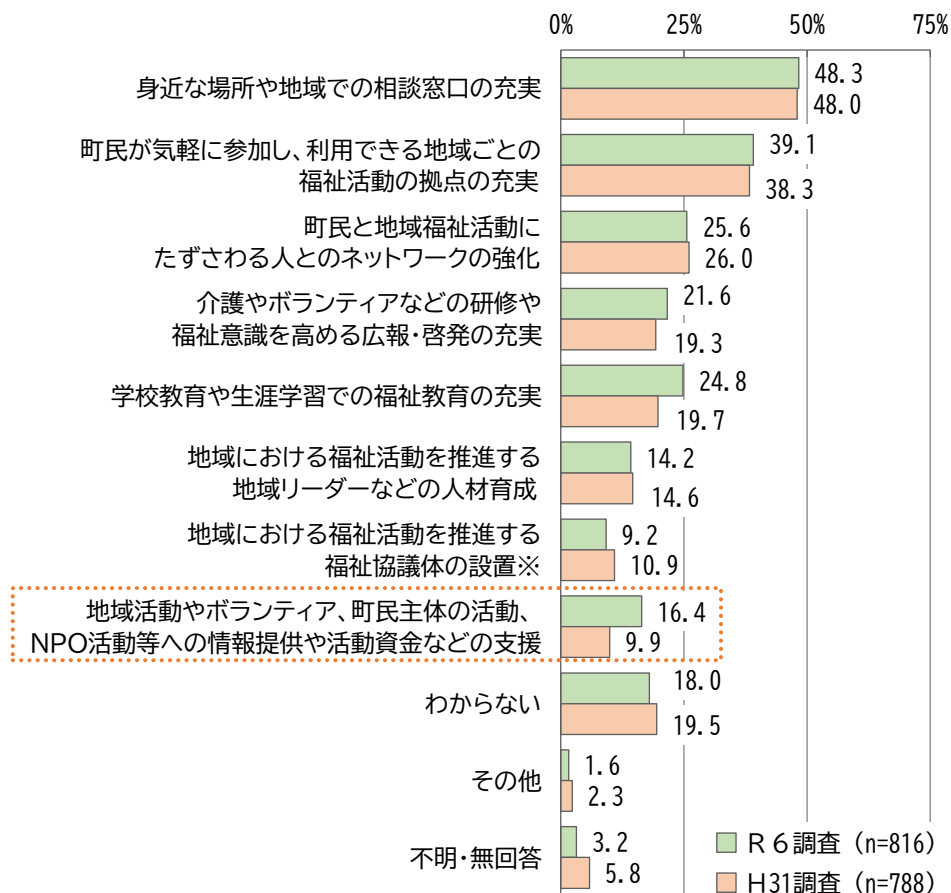
● 「ひきこもり」への印象・考え | 複数回答 新規

「誰にでも起こりうる」が74.8%と最も高くなっています。



● 地域福祉を推進するために、必要だと思うこと | 複数回答

「身近な場所や地域での相談窓口の充実」が48.3%と最も高くなっています。前回調査と比較すると、「地域活動やボランティア、町民主体の活動、NPO活動等への情報提供や活動資金などの支援」が6.5ポイント高くなっています。

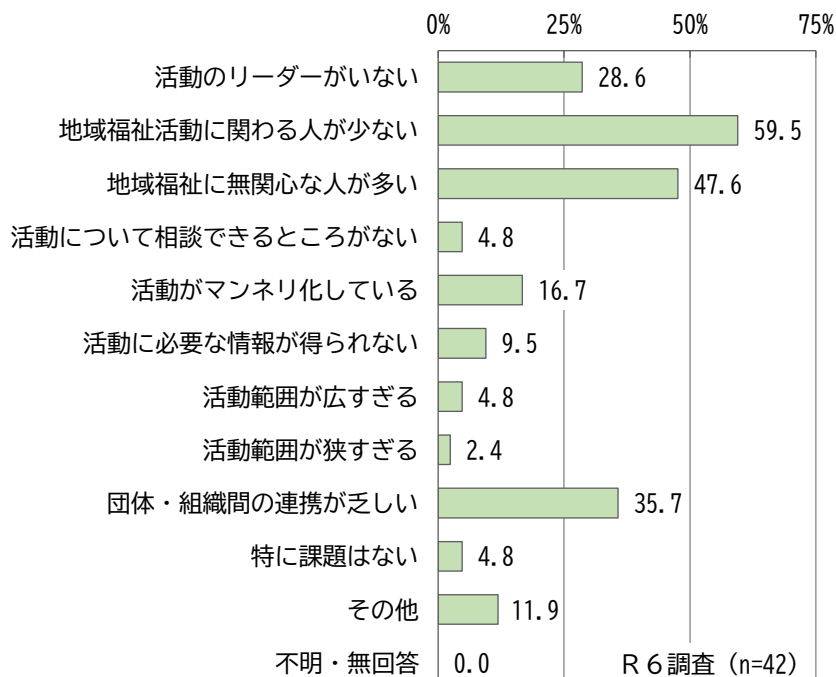


※選択肢「地域における福祉活動を推進する福祉協議体の設置」は、H31 調査では「地域における福祉活動を推進する地区社会福祉協議会の設置」。

2 民生委員・児童委員調査結果

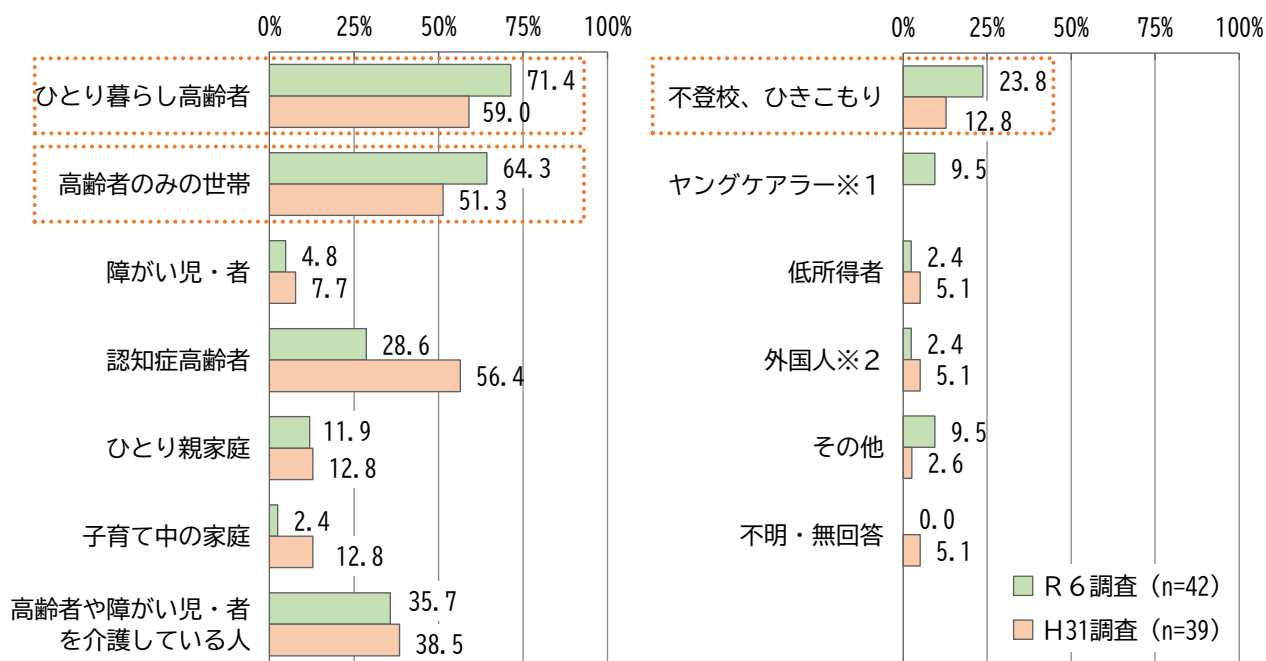
●地域の助け合い・支え合い活動を推進するにあたっての課題 | 複数回答

「地域福祉活動に関わる人が少ない」が59.5%と最も高くなっています。



●お住いの地域において、これから特に支援が必要だと思う対象 | 複数回答

「ひとり暮らし高齢者」「高齢者のみの世帯」がそれぞれ6割以上となっています。前回調査と比較すると、「高齢者のみの世帯」が13.0ポイント、「ひとり暮らし高齢者」が12.4ポイント、それぞれ高くなっている一方で、「認知症高齢者」が27.8ポイント、「子育て中の家庭」が10.4ポイント、それぞれ低くなっています。

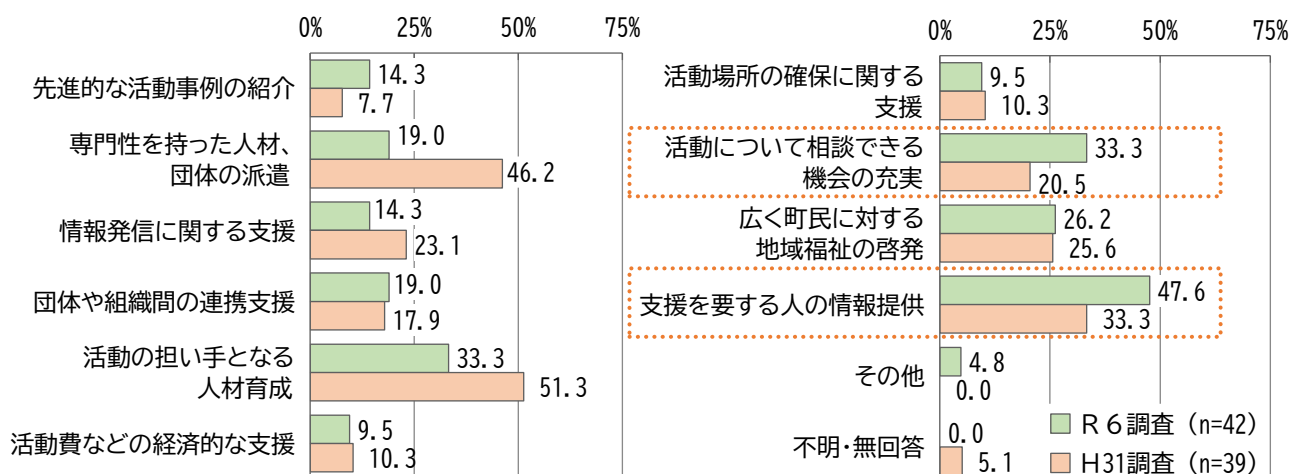


※1 選択肢「ヤングケアラー」はR 6 調査のみ。

※2 選択肢「外国人」はH31 調査では「外国人住民」。

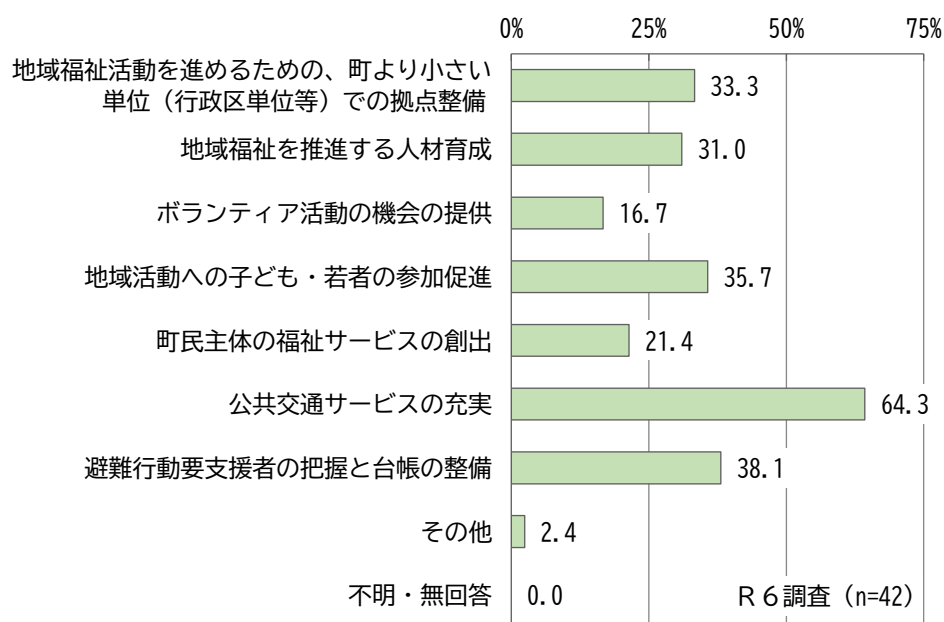
●対象者の支援に向けた地域の助け合い・支え合い活動を推進するために必要なこと | 複数回答

「支援を要する人の情報提供」が47.6%と最も高くなっています。前回調査と比較すると、「支援を要する人の情報提供」が14.3ポイント、「活動について相談できる機会の充実」が12.8ポイント、それぞれ高くなっている一方で、「専門性を持った人材、団体の派遣」が27.2ポイント、「活動の担い手となる人材育成」が18.0ポイント、それぞれ低くなっています。



●次の取組のうち、今後、行政（町）で重点的に進めるべきだと思うもの | 複数回答

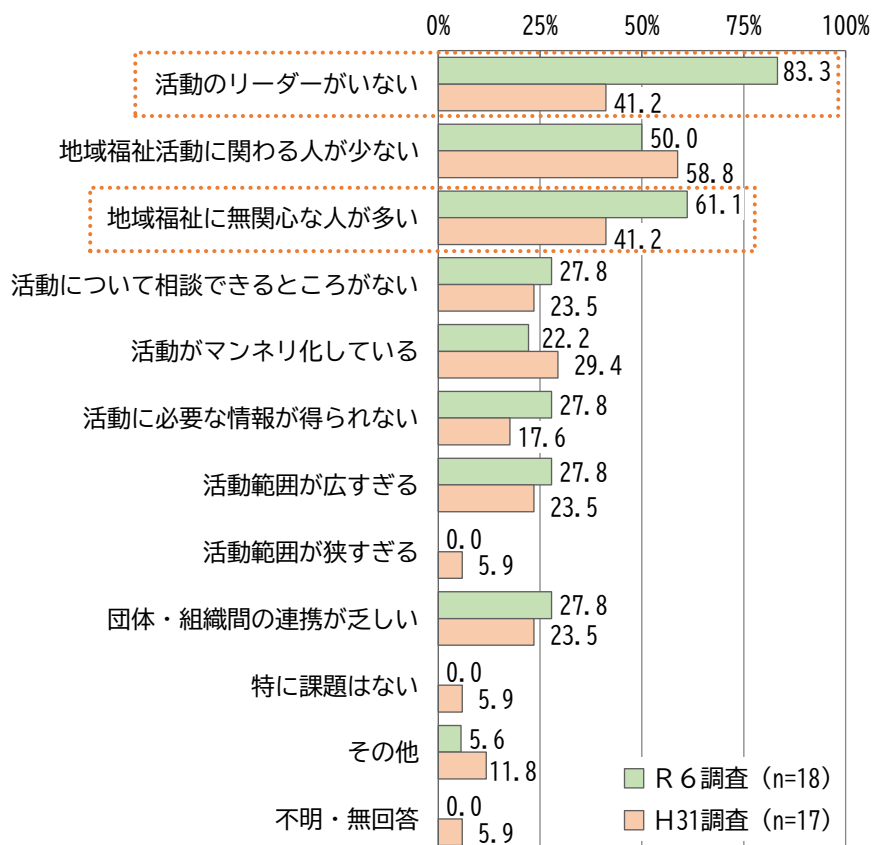
「公共交通サービスの充実」が64.3%と最も高くなっています。



3 区長・自治会長調査結果

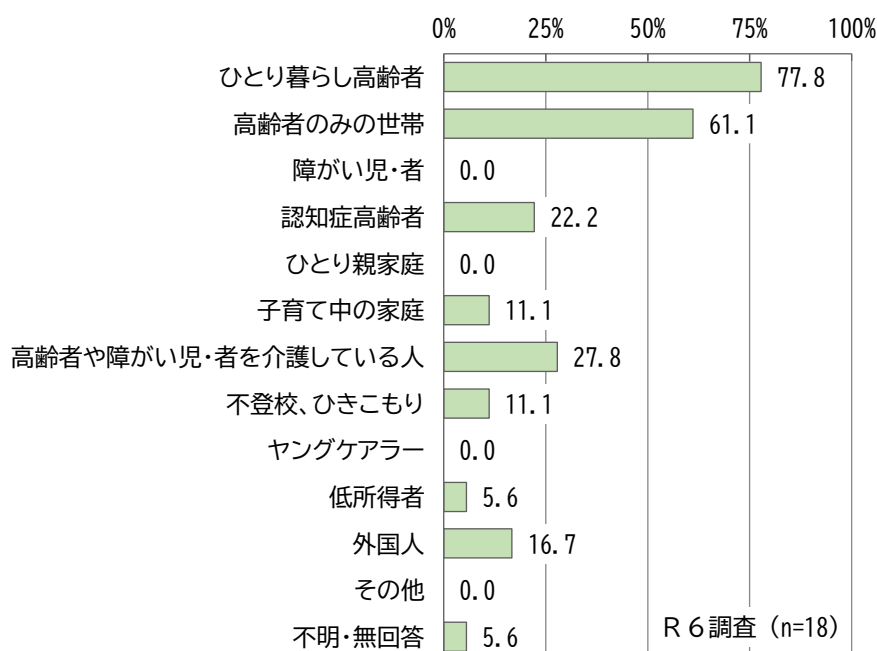
●地域住民による地域の支え合い活動を進めるにあたっての課題 | 複数回答

「活動のリーダーがいない」が 83.3%と最も高くなっています。前回調査と比較すると、「活動のリーダーがいない」が 42.1 ポイント、「地域福祉に無関心な人が多い」が 19.9 ポイント、それぞれ高くなっています。

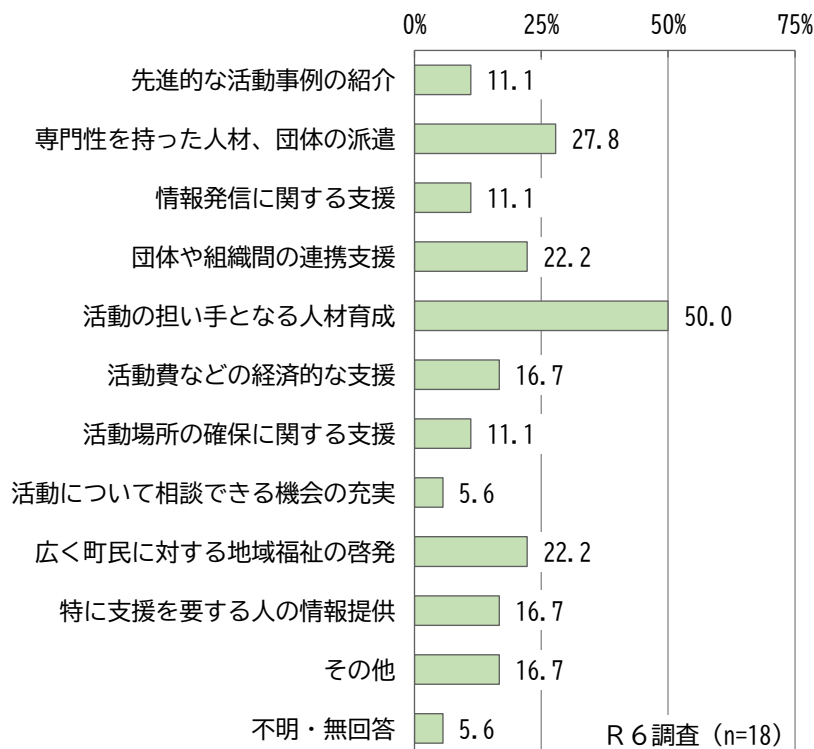


●お住いの地域において、これから特に支援が必要だと思う対象 | 複数回答

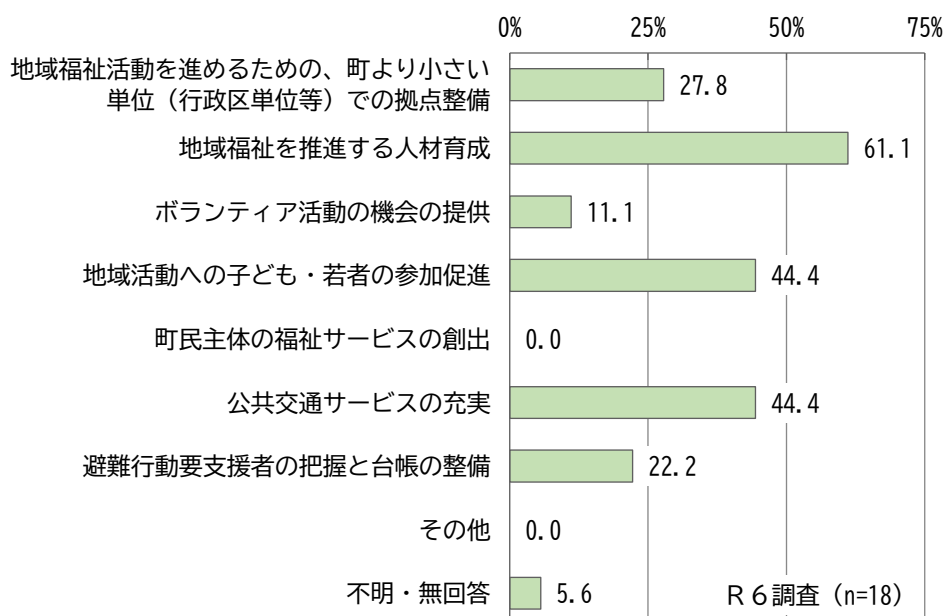
「ひとり暮らし高齢者」「高齢者のみの世帯」がそれぞれ6割以上となっています。



- 対象者の支援に向けた地域の助け合い・支え合い活動を推進するために必要なこと | 複数回答
「活動の担い手となる人材育成」が50.0%と最も高くなっています。



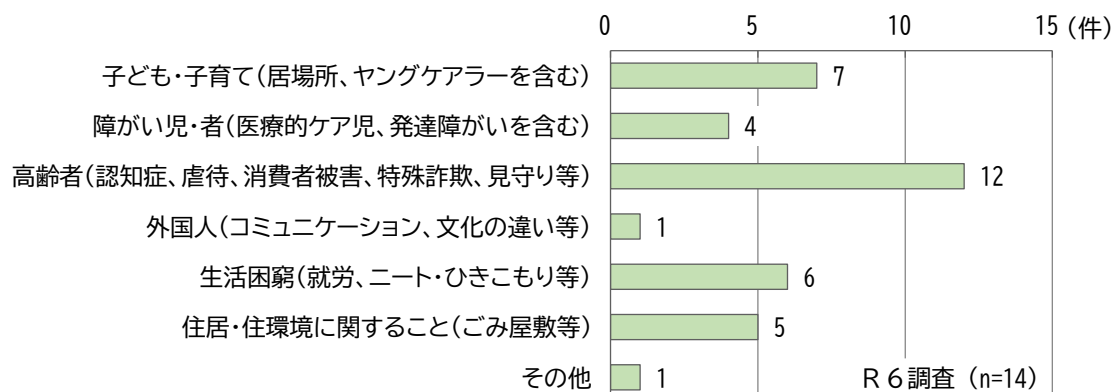
- 次の取組のうち、今後、行政（町）で重点的に進めるべきだと思うもの | 複数回答
「地域福祉を推進する人材育成」が61.1%と最も高くなっています。



4 団体・支援者調査結果

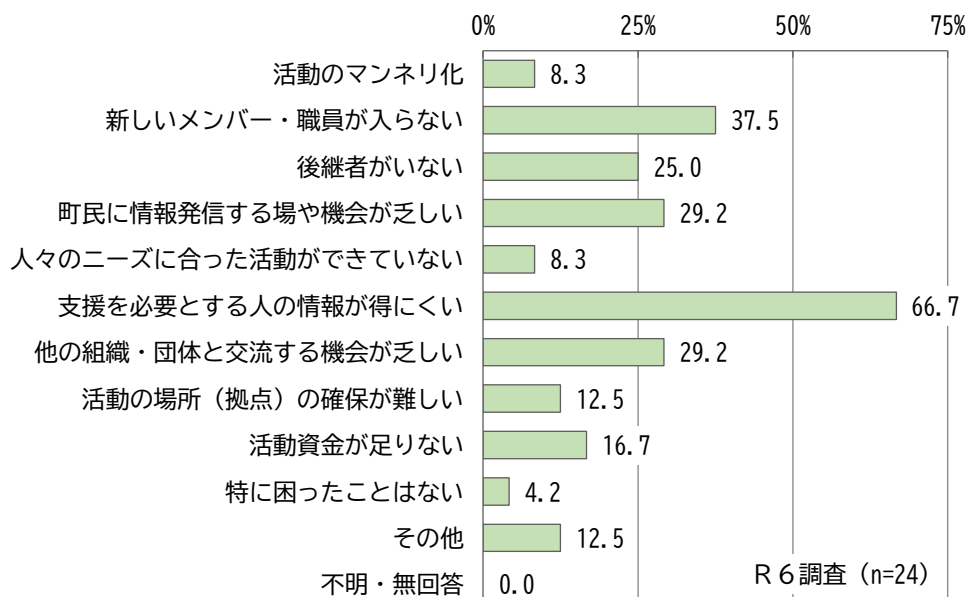
●活動を通して経験した対応が難しいと感じた分野 | 複数回答

「高齢者（認知症、虐待、消費者被害、特殊詐欺、見守り等）」が12件と最も多くなっています。



●活動を行う上で困っていること | 複数回答

「支援を必要とする人の情報が得にくい」が66.7%と最も高くなっています。



●次の取組のうち、今後、行政（町）で重点的に進めるべきだと思うもの | 複数回答

「地域福祉を推進する人材育成」が50.0%と最も高くなっています。

